

光赤外装置技術WS・技術シンポジウム アンケート まとめ

長山省吾（国立天文台 天文情報センター）

集計期間：2015年12月16日～27日

アンケート方法：ウェブフォーム（Google ドライブのフォーム機能）

対象：光赤外装置技術WS・技術シンポジウム参加者（メールにて周知）

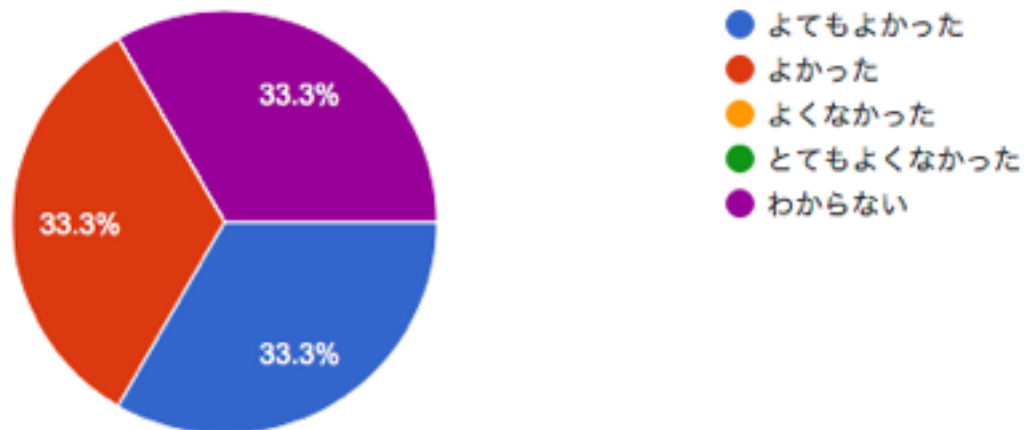
参加者数：約70名

回答数：12件（回答率は15%前後）

1：参加日程

省略。

2：合同で開催したことについて



- ・「とてもよかった」「よかった」「わからない」がそれぞれ1/3ずつ。
- ・ポジティブな意見が2/3を占めた一方で、ネガティブな意見は皆無だった。

3：合同開催についての感想（自由記述）

- ・合同で開催したことについては、「別分野だが、光赤外装置に興味を湧いた」「良い試み」「メリットが感じられなかった」「技術シンポジウムの意義を問われた」など賛否両方あった。
- ・特別講演（合同セッション）には複数の好意的な意見。

- ・5日間開催の開催期間については、「日程調整が困難」「長すぎる」「全日程参加できない」などあまり良い感想はなかった。実際に5日間参加した人も少なかったことから、合同開催時の開催期間については短縮した方が良さそう。
- ・合同開催は何年かおきにすることの提案が複数あり。

Q4：ご意見・ご感想等（自由記述）

（特に傾向参考になりそうな回答をピックアップ）

- ・発表開始時のPC接続時に時間を消費した印象がある。
- ・5日間の日程は長い。パラレルに進行できないか。
- ・三鷹以外の観測所を訪問（施設見学やスタッフとの交流）する絶好の機会となっている。ランチでの開催も絶やさないと欲しい。
- ・業界やプロジェクトの専門用語を減らすとより発表内容が分かりやすい
- ・装置に携わっている学生にもっと参加してもらえると良い
- ・可能であれば中継してほしい
- ・開催方法についてはより有意義になるよう検討が必要。たとえばプログラムを両方混ぜる等して、参加者が偏らない工夫をしないと合同開催の意味がないと思いました。